

シリーズ

「私の森林語り」
もりかた森林・林業との関わりの中で、
様々な課題に挑戦されている方
の取組を紹介します。株式会社アペックス
企画本部 環境部 部長
たなべ
田邊 めぐみ

■自己紹介

カメラで街や風景、そしてたまに猫を撮っています。コロナ禍でなかなか思うように撮れない日々が続きますが、時折、公園のベンチで、目を閉じて葉擦れの音を聞くと心が洗われ、自然の偉大さを感じます。桜の木でできたカスタネットを大切にしています。

■活動内容

アペックスは、カップ式自動販売機を主体に全国で展開している専業オペレーターです。「自動販



間伐材を使った紙カップ

売機」というと、どこか無機質な工業的なイメージを抱かれる方も多いと思いますが、実は、地元の水を使い、日本の森林から伐り出されたチップを原料とした原紙を紙カップに使ったり、コーヒー豆



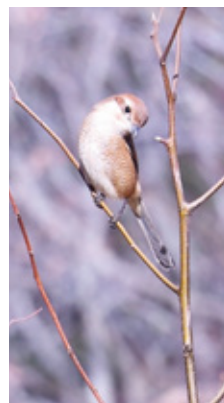
除伐した木を運んでいる様子

という農産物を原料にコーヒーを抽出したり、自然の恩恵なしでは成り立たないものなのです。そんな自覚から、アペックスでは、八年前に、当時、自動販売機オペレーター業界初の取り組みとして、「間伐材を含む国産材一〇〇割」にこだわり、間伐材紙カップの使用を開始しました。

今では、お客様の事情など特殊なケースを除くと、間伐材紙カップの使用率は一〇〇割です。脱炭素化社会構築には、日本の森林の手入れが不可欠ですが、微力ながら、貢献できればと考えています。

また、地域社会との関わりの中で、横浜自然観察の森でバードウォッチングや外来樹木の除伐を

したり、公益財団法人日本野鳥の会の「ヒナを拾わないで」キャンペーンに協賛したり、陸と海の豊かさを応援した取り組みにも携わっています。

バードウォッチング
で撮影したモズ

■今後の展望(メッセージ)

地産材でラッピングしたカップ式自動販売機を「自動販売木®」と名付けて展開中です。

全国にこの「植林」を広げていけたら、と考えています。

○連絡先

株式会社アペックス 東京本社

〒102-0007

東京都千代田区九段南二丁目三番
十四号

靖国九段南ビル六階

TEL 代表〇三ー三三三四ー六五〇一

ホームページ

<https://www.apex-co.co.jp/>